

今月号では、「鉄道の将来に向けた研究開発」として、鉄道総研の基本計画RESEARCH 2020に基づき、おおむね10数年先の実用化を念頭に置いて取り組んださまざまな研究開発の成果を紹介しました。コロナ禍によって生活様式の見直しを迫られ、先行きの不透明感が増す状況ではありますが、そのような状況下であっても、今回紹介した更なる安全性の追求、情報ネットワークの活用、速達性の向上といった研究課題は継続して取り組むべきと考えます。また、研究開発に携わる者にとっては、研究基盤の一つであるシミュレーション技術の高度化も重要な課題です。

紹介した成果の中には、早期に実用化が可能なものもあれば、実用化に向けた課題が残されているものもあります。残課題については、今年度からスタートした新たな基本計画RESEARCH 2025に基づいて実施する研究開発の中で、引き続き実用化に向けた取り組みを進めてまいります。

来月号の特集は「新幹線技術」です。新幹線は1964年の東京オリンピックの開催に合わせて開業しました。それから56年後となる今年の東京オリンピック開催は延期となりましたが、新幹線の発展に寄与した鉄道総研の関わりを中心に紹介します。どうぞご期待ください。(H. S.)